



2023 G7 仙台科学技術大臣会合
推進協力委員会 会長

郡 和子

(仙台市長)

2023年5月12日から14日までの3日間、仙台の秋保地区を会場に開催されたG7仙台科学技術大臣会合は、関係機関や市民の皆様のご理解とご協力により、大きな成果を上げ無事終了いたしました。

会合では、信頼に基づく、オープンで発展性のある研究エコシステムの実現をテーマとして、科学研究の自由と包摂性の尊重とオープンサイエンスの推進、研究セキュリティ・研究インテグリティの取り組みによる信頼できる科学研究の推進、気候変動など地球規模課題の解決に向けた科学技術国際協力等についてハイレベルな議論がなされ、これらの成果は広島サミットへと引き継がれたところです。

当推進協力委員会は、2022年9月に本市での会合開催が決定されたことを受け、同会合の成功に向けて、2022年10月に官民一体となり設立されました。以降、円滑な会合開催に向けた支援のほか、本市の科学技術を活かした取り組みや東日本大震災からの復興に関する情報発信、イベントやSNS等を通じた周知広報など準備を進めてまいりました。

会合期間中には、G7各国の代表団が被災地沿岸部を直接訪れる公式視察を実現し、東日本大震災から12年が経過した仙台・東北のこれまでの復興のあゆみを発信するとともに、世界からいただいた支援への感謝をお伝えしました。また、次世代放射光施設NanoTerasuにも直接訪れたほか、会場内で東北の技術展示をご覧いただきました。

そして、「アキウナイト」と銘打った歓迎行事には、各国の大臣を含めた多くの皆様にご参加いただき、仙台・東北の食やお酒のほか、仙台すずめ踊りやユネスコ無形文化遺産である秋保の田植踊などもご披露いたしました。大臣や各国代表団の皆様には、すずめ踊りを一緒に踊っていただくなど大変和やかなひとときを過ごすことができました。

本市といたしましても、2015年の国連防災世界会議や2016年のG7仙台財務大臣・中央銀行総裁会議に続く、今回のG7科学技術大臣会合という、ハイレベルな国際会議の開催支援のノウハウを積み重ねることで、国内外からの投資や科学技術をテーマとした学会の誘致などにつなげ、地域経済の発展とグローバルMICE都市としてのさらなる飛躍を目指してまいります。協力委員の皆様におかれましては、引き続きお力添えを賜れますと幸いに存じます。

結びに、会合開催にあたり、ご協力をいただきました内閣府の皆様をはじめ、様々な心遣いをもって準備・対応いただいた秋保地区の皆様、語学ボランティアの皆様、警備や医療、防災、ライフライン等あらゆる分野にてご対応いただいた皆様、各種関連イベントにご参加いただいた市民の皆様、その他ご協力いただいた全ての皆様により感謝を申し上げます。